

体局
3団発
装開
舗道

道路事業の予算確保を

担い手確保など意見交換

北海道舗装事業協会（中田隆博会長）、日本道路建設業協会北海道支部（中山晶敬支部長）、北海道アスファルト合材協会（玉川裕一会長）の舗装関係3団体は10日、札幌市のホテルマイステイズ札幌アспенで北海道開発局との意見交換会を開いた。写真。道路事業の予算確保と安定的な工事の発注、高規格道路の整備促進などについて、意見を交わした。



遠藤達哉局長は、担い手の確保に向けて「さまざまな取り組みを進めているが、受発注者双方が知恵を出し合って課題を解決し、業界の魅力ある発展と健全な産業となるよう目指していきたい」とあいさつした。

中田会長は、担い手確保対策として、一般参加型のフォト・ムービーコンテスト、PR動画の作成、オウンドメディア『MICHIIFAN GUIDE』の立ち上げなど、工夫を凝らした取り組みを進めている状況を説明し、「コンテストの応募件数も増えており、徐々にではあるが成果が上がってきている」と語った。

意見交換では、防災・減災、国土強靱化対策の推進や担い手の確保と企業経営の安定化、働き方改革への対応などについて話し合った。

